

世界に一人だけの「あなた」を守って

くがん検診を受けてくださいく

問 保健センター 26-5670 / FAX 26-5660

「がん検診なんて必要ない」

それは、言い訳ですか、慢心ですか？

いつまでそんなことを言い続けますか。

「おいしいものを食べたい」

「家族とずっと笑っていたい」

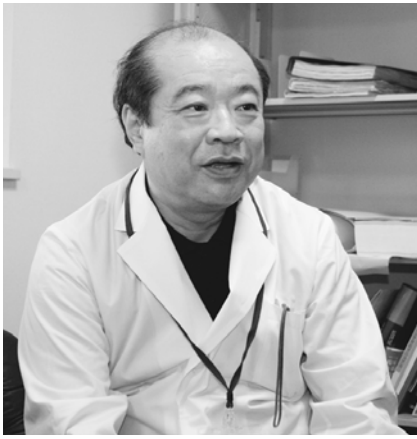
あなたに今できること。

あなたがしなければならぬこと。

それは、がん検診を受けること。



INTERVIEW ①



あきふじ よういち
秋藤 洋一医師
(厚生病院医療局長／鳥取県健康対策協議会
胃がん対策専門委員)

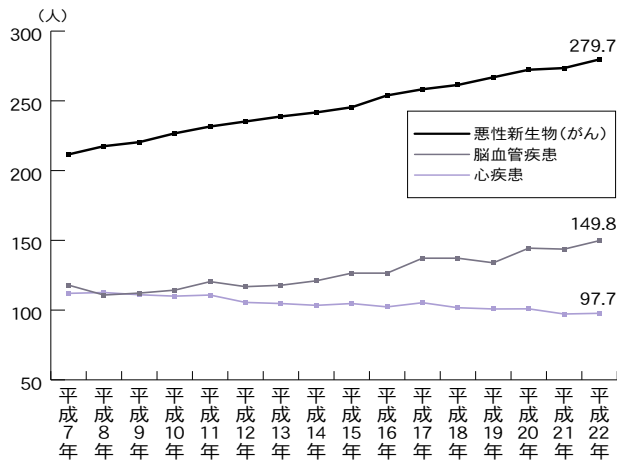
「倉吉市は、胃がん検診をはじめ、各種検診の受診率が低迷しており、危機感を持っています。せめて、20%は超えるように目指していますが、なかなか難しいのが現状です。

これからは、受診率が低い地区を回って講演会を開いて啓発をしたり、とにかく、もっと地道に、細かい取り組みをしていかなければならないと思っています。

あと開業医や企業、保健事業団との連携も必須になります。私たち医師もできる限り協力したいと思います。

倉吉市の検診事業自体は、県で表彰を受けるぐらい充実しているの、それを利用しないのは非常にもったいないと思います。

利用せずに、がんがかなり進行してから来院する人が後を絶たないので、本当に残念で仕方がないんです」



【グラフ①】3大死因の死亡率の推移
厚生労働省「人口動態統計」より作成

※死亡率：人口10万人に対して何人が死亡したかを表します。

早期発見・早期治療ができる 胃がんの死亡率は なぜ、高いのか？

とにかく低い受診率

「本当に、どうして倉吉市は受診率が低いんだろうね」
厚生病院医療局長の秋藤洋一先生は、もどかしそうにそう言っって首をかしげます。
わが国において、死亡原因のトップは「がん」です(グラフ①参照)。これは、3人に

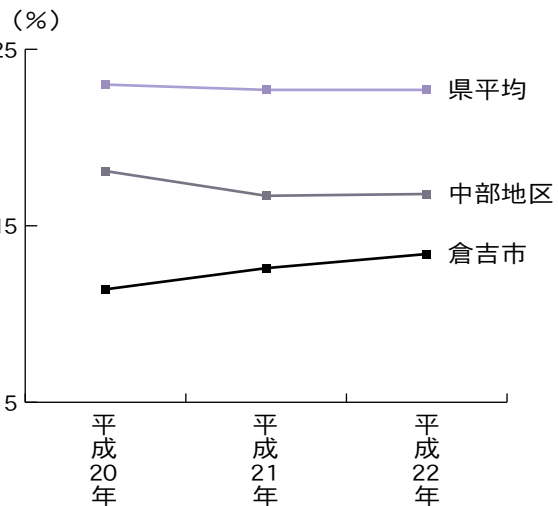
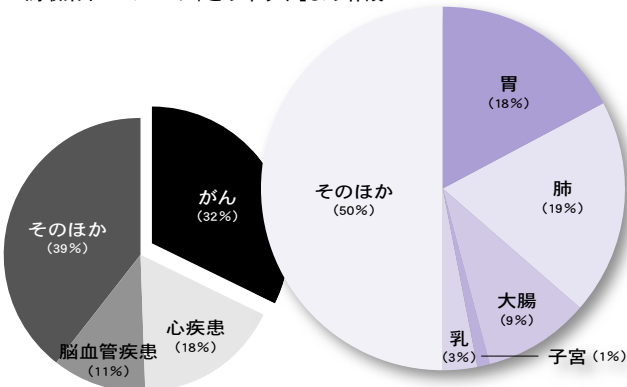
1人は、がんで亡くなっている計算になります。鳥取県でも第1位です。
その中でも中部地域は、「胃がん」の死亡率が、東部や西部と比べて格段に高いというデータがあります。
がんは、今や「不治の病」ではありません。初期段階で治療すれば、完治する可能性が高くなっています。ですから、

定期的な検診を受け、早期発見することが重要です。
しかし、倉吉市が実施する胃がん検診の受診率は、毎年20%を下回っています。中部地域の胃がん検診の受診率は、東部や西部と比べて毎年大幅に低いのですが、最も低いのが倉吉市です。そのことが死亡率の高さにつながっている可能性が考えられます

(グラフ②)〜④参照。

それならば、倉吉市の胃がん検診は、他の市町村に比べて受けにくいのかといえはそうではありません。会場や日程の数を多くして受診しやすくしたり、節目ごとの受診案内を送付するなど、むしろ受診啓発には手厚く取り組んでいるといえます。
ですから、冒頭の秋藤先生の疑問が出てくるのです。

▼【グラフ③】倉吉市死亡者の死因割合(平成22年)
鳥取県ホームページ「とりネット」より作成



【グラフ②】鳥取県胃がん検診受診率

▲【グラフ④】倉吉市部位別がん死因割合(平成22年)
鳥取県ホームページ「とりネット」より作成

がん検診を受診しない理由は

(グラフ⑤参照)

「あり」か「なし」か?

INTERVIEW ②

私が検診を受けない理由



Aさん (43歳)

『医療保険制度』＝『相互扶助』の観点から、自分自身がきちんと健康管理をしなければいけないというのは十分に理解していますが、忙しい日常の中で自覚症状もないのに医師に診てもらおうというのは、必要性を感じられず、つつい優先順位を下げてしまいがちになります。

どうせ診てもらっても大丈夫だろうという過信と、何かあって今の生活に影響が出てしまうのではないかと多少の不安が混在した気持ち。いざというところまでいかないと、なかなか自分のことは放っておいてしまうんだろうと思います」

い思い込みです。誰もががんにかかる可能性があります。

また、がんは、自覚症状が出てからでは、かなり進行していることがあります。グラフ⑥は、検診によりがんが見つかったケースと、検診以外でがんが見つかったケースの5年相対生存率を表したものです。2つのケースには大きな差が生じていることがわかります。

秋藤先生も、「倉吉の人は、我慢強いというか、相当身体がつかうから外来を受診するケースがよくあります。そのときには、もう、がんがかなり進行してしまっていて、手の施しようがないということもまれではありませ

今、自分は健康だと思っっているあなたにできることは、「異常がないことを確認すること」と、「自分の身体に潜んだ病気を、早期発見すること」。まずは目を背けず、自分の身体と向き合ってください。

検査は「こわい」?

「がん」と言われると、死と直面するような気がして恐ろしい」と言う人がいます。

受診しない人に話を聞くと、口をそろえたように、「検診が大切なことはわかっている」と言います。わかっているならなぜ受けないのですか? 検診を受けない理由は何か。この際、じっくりと自分と向き合い、考えてみましょう。

自分のがんにならない?

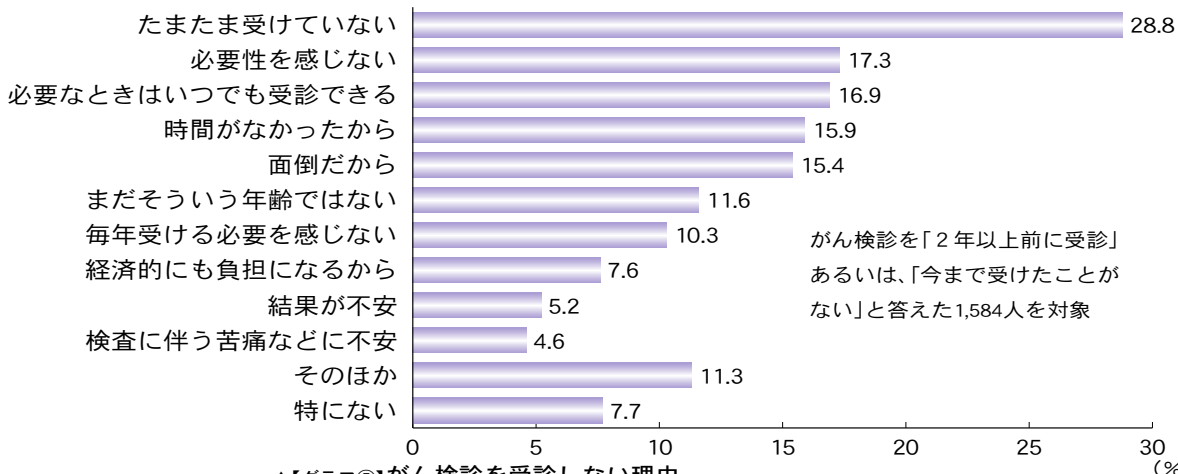
身体に特に不調がなく、健康

康に不安を感じないときは、がんになった生活や身体が想像できないものです。また、健康に過信が生じて、「自分はがんにはならない」と思い込み、がん検診の必要性を感じなくなります。そうすると、「時間をもつたいたい(仕事が休めない)」、「お金がもつたいない」と優先順位はどんどん下がっていきます。

しかし、「自分のがんにならない」というのは根拠のない

です」と言われます。

また、「入院したら家族や職場に迷惑をかける」など、これまでと同じ生活ができなくなってしまう不安もあるで



がん検診を「2年以上前に受診」あるいは、「今まで受けたことがない」と答えた1,584人を対象

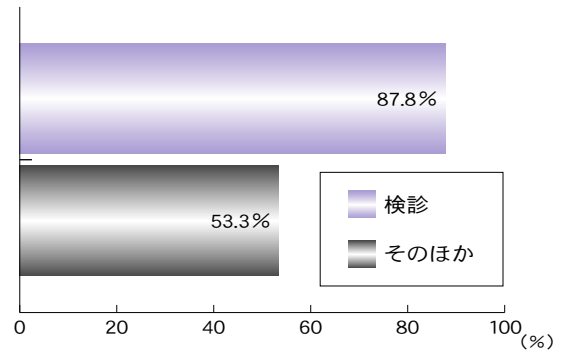
▲【グラフ⑥】がん検診を受診しない理由
「内閣府大臣官房政府広報室：がん対策に関する世論調査2007」より作成



【表⑦】胃がん治療別医療費(平均的費用)の比較(概算)

	開腹手術	内視鏡手術
技術料	55万8,700円	14万1,300円
麻酔料	18万円	0円
入院費	約34万円/16日	約17万円/8日
総医療費	約145万円	約44万円
自己負担(3割)	約43万5,000円	約13万2,000円
高額医療費制度 (一般区分) 自己負担額	約9万2,000円	約8万2,000円
治療後の費用	約26万4,000円 /年	0円

▼【グラフ⑥】発見経緯別 5年相対生存率(胃がん)
「がんの統計'05」より出典



検診を受けて 早期発見・ 早期治療することが、 医療費を抑え 保険料増額を防ぎます。

検診は、本来、病気の治療や検査ではないため、保険証を使いません。ですから、医療費を圧迫することはありません。*

また、右にも述べたように、がん治療は、進行すればするほど医療費が高額になります。医療費の増大は、国民健康保険など医療保険制度を圧迫し、「保険料の増額」といった形で私たち自身に跳ね返ってくるのが考えられます。

そのためにも、検診を受け、身体の不調を早期発見し、治療することが大切なのです。

*ただし、倉吉市が発行するがん検診受診券を使えば費用のほとんどは補助されます。

(例)胃がん検診は、70歳未満の場合、1万円程度の費用がかかりますが、がん検診受診券を使用すれば、1,500円で受けることができます。

しょう。治療の痛みに対する恐怖も感じます。けれども、だからこそ検診での早期発見・早期治療が必要といえるのです。

表⑦は、がんが進行した段階で行う開腹手術と、早期発見して行う内視鏡手術の平均的な医療費です。まず、開腹手術と内視鏡手術では、身体の負担や苦痛に大きな差があります。また、医療費や治療日数も内視鏡手術の方が格段に抑えられ、日常生活への影響も少なく、経済的な負担も軽くなります。

自覚症状がないうちから、早期発見するのが検診の目的

最後に、「がんになったら、なったただいな。なるようにしかならんだけ」と言う人もいます。本当に、がんになってもその考えは、家族や周囲に必要以上の負担をかけることになりませんか？

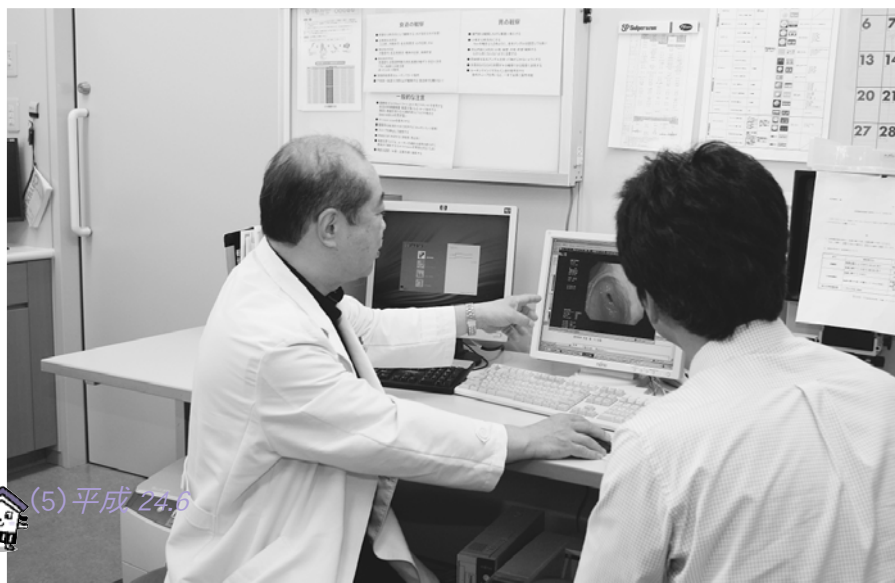
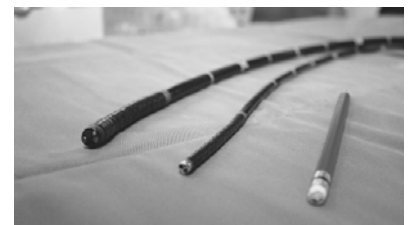
おけば...と後悔する人が多いのが現実なのです。

実際、がんになると、「やはり、あのとき検診を受けておけば...」と後悔する人が多いのが現実なのです。

です。受診は、早ければ早い方がメリットが大きいのです。
なったらなった？

長年、「不治の病」として恐れられてきた「がん」。しかし、医療技術が日々進歩している現代では、早期発見して治療を行えば、完治できる可能性が高くなっています。

胃内視鏡は、口からだけでなく、鼻から挿入する細いものもあります(下の画像:左が口用、中が鼻用。右は鉛筆)。
画像も、病院によってはクリアなハイビジョンで確認することができます。



【検診の受け方】保健センターの保健師が伝授します！

STEP 1

がん検診受診券が届く

受診券の中面に、料金などが記載されています。
 ※特定の年齢の人には、無料クーポン券が同封されています。
 ※85歳以上の人には、申し込みにより郵送します。



◀早田鈴美保健師

STEP 2

受診場所を選ぶ

●医療機関での検診

※医療機関の詳細は、くらよし健康ガイドに掲載しています。

●地区公民館などでの集団検診

お住まいの地区以外でも受診することができます。

STEP 3

日程を決める(予約)

医療機関に連絡して、予約をとる。
 ※医療機関の詳細は、くらよし健康ガイドに掲載しています。

日程を確認し、必要に応じて保健センターに申し込みをする。

※日程・場所などの詳細は、くらよし健康ガイドに掲載しています。



STEP 4

検診を受ける

がん検診受診券を持参する。
 ※注意事項を、くらよし健康ガイドで確認してください。



STEP 5

結果が届く

約1か月程度で郵送します。



桃貫香奈保健師▶

STEP 6

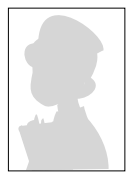
来年も受ける

異常がなくても毎年受診することが大切です。

6、7月の集団健康診査のご案内

	日 程	場 所	受付	健診内容
6月	7日(木)	明倫公民館	8:00 }	・特定健診 ・長寿健診 (後期高齢者健診) ・一般健診
	14日(木)	上灘公民館		
	29日(金)	成徳公民館		
7月	2日(月)	関金総合	10:00	・がん検診 (胃・肺・大腸・前立腺) ・肝炎ウイルス検査
	3日(火)	文化センター		

INTERVIEW ④



Bさん

「看護職として、自分が健康じゃなければ他人に良いケアが提供できないですし」という思いで、数年前より人間ドッグを受けていました。

それは、自分が健康であるという証をいただくためでした。臨床場面で、よくここまで受診しなかったなあという患者さんに多々出会ったことも理由にありました。

健康には、とても自信があったのに、昨年、マンモグラフィーで悪性疑いという診断結果が返ってきました。「まさか自分が」と、否定しながらも、検査を進めていくうちに手術が決定し、現在も治療中です。早期の乳がんだったから、良い時期に治療のタイミングに入れたのだと思います。

早期発見・早期治療のおかげで、現在も仕事が続けられていることに、喜びを感じ、検診を受けることの重要性を感じています。健康であると思っけていても、「この私、まさかでしょ」ということはあります。まさかに備えて、心身ともに余裕のあるうちに早期発見できるよう、自分の身体とちゃん





家族とずっと笑って暮らしたいから。

前田艶子さんは、それまで大きな病気をしたこともなく、「元気が取り柄」と自負してきました。インタビュ

中、時折見せる笑顔がその場をばつと明るくする…そんな雰囲気を持つ人です。

「ですから、検診も10年ほどご無沙汰していました」

そんな前田さんが、久々に検診を受けたのは平成22年の秋。近所の友人と高城の集団検診を受けました。特に身体

に不調があるわけでもなく、60歳を迎える節目だったからだといいます。

しかし、数日後、保健センターから「精密検査を受けてください」と通知があり、間を置かずに市内の病院からも来院して検査を受けるように連絡がありました。

胃部レントゲン検査(バリウム検査)で、異常が見つかったのです。

「そのときは、怖いとか、そういう気持ちはなかったですね。自分のことと思えず、ピンとこなかったというのが本当のところ。でも、介護が必要な家族もいますし、ここで自分が倒れるわけにはいかないと思い、早めに受診しました」

結果は、胃部にがんが見つかり、平成23年1月に胃を半分摘出する手術を受けました。「比較的、早い段階で発見されたので、短期の入院で済み、がん細胞もすべて取り除かれました。今は、医療分野も発

達して、術後の痛みなど、患者の負担をできる限り減らすようにケアされており、安心して病院に任せられました」

入院中の家族ぐるみの支えも心強かったといいます。「私が予想していた以上に、嫁いだ2人の娘が特によくしてくれて。入院中は、毎日のように実家に来て、家事をこなし、家族の様子をみてくれました。」

うちは自営業をやっているし、家のこともしなければならぬし、毎日忙しくて休みもなく、これまで自分の身体を省みることがありませんでした。例えば、今回のことは、『ちよつとは休みなさい』という神様のメッセージだったのかも知れません」

退院後は数か月ごとの通院と服薬以外は、入院前と同じ生活を送っています。「胃を手術したせい、嗜好は多少変わりましたが、食べる量が減ったこともあり、ずいぶんスリムになりました。その

分、動きやすくなりましたよ(笑)。今は食欲もほとんど戻って、これからの暑い夏にはビールが飲みたいですね」

ただ、今は、再発防止と医師のすすめもあり、日常、無理はせず、自分の身体を労わるように意識しているといいます。

「家族にも、『病人は休憩できんけど、元気な者は休憩できるけ』と言われました。今

が人生で一番いいときかもしれないですね。がんが見つかったときは、『何で自分が』とショックを受けましたが、こうして元気になると『早く見つかってよかった』と思います。まだまだ、孫の成長を見守りたいですからね」

そう言って、前田さんは部屋中に飾られたお孫さんの写真を目を細めて見つめました。「やっぱり検診は行かなくちゃだめですね。自分は大丈夫だとか忙しいとか言わずに、誰のためでもなく自分のために」

と向き合うよう、検診を受けることを皆さんにもお勧めします。楽しいこと、まだまだいっぱいやりたいですもんね！

厚生病院の子宮がん・乳がん検診 ※6月以降の日程も受付中です。

※要予約(予約先:保健センター☎26-5670)

日程	場所	受付時間	健診内容
6月 14日(木)、21日(木) 15日(金)～18日(月) 22日(金)～26日(火)	厚生病院	12:10～12:50	・乳がん検診(視触診)
		14:45～14:55	・乳がん検診(マンモグラフィ検査)

レディース検診

※要予約(予約先:保健センター☎26-5670)

日程	場所	受付時間	健診内容
6月 6日(水)	明倫公民館	12:50～13:30	・子宮がん検診 ・乳がん検診(視触診・マンモグラフィ検査)